

SUN ななネット。

地域で支える高齢者の居場所
いつまでも笑顔で元気にふくろう高平
の皆さん

Fukurou Takahira 高平



「ここに来るのが毎週楽しみ」。高齢者ふれあいサロン「高平の里」の利用者は皆、笑顔でそう語る。今年で創設22年目。毎週月曜から金曜、送迎付きで手芸や健康体操、食事を楽しめる場として、地域の高齢者の大切な「居場所」になっている。

「楽しく笑って過ごせる、ほっとする場所になりたい」。笑顔でそう話すのは、サロンを運営するNPO法人ふくろう高平の代表・奥由香里さん。「いつまでも高平で元気に暮らせるように」と、高齢者に外出の機会を提供し、地域の中で交流できる場をつくりたいという、創設当初からの想いを大切に受け継いできた。現在利用者の半数以上が88歳以上。「体調を崩していた利用者が、『ここに来てたくて治療を頑張った』と元気に帰ってきてくれた時は、やりがいを感じた」と話し、スタッフ全員がうれしそうにうなずいた。

「ふくろう高平」には、広い視野で、地域を見守る存在になろうという想いが込められている。利用者の体調や近況に気を配り、楽しんでもらえる工夫を欠かさない。サロンの自慢はおいしいお昼ごはん。地元高平のお店が提供する料理だけでなく、具だくさんの味噌汁など、スタッフ手作りの一品を追加するのがこ

だわり。地元の野菜をスタッフや利用者、地域の人が持ち寄り、多い時には2品、3品とおかずが増えることもある。利用者にも大人気で多くの人が完食。「食べ過ぎてサロンの翌日は体重が増えちゃって」という声に皆が笑う。利用者の「毎日でも食べに来たい」という声が、大きな励みになっている。

「人生の先輩たちとふれあい、逆に相談に乗ってもらったり、学ばせてもらうこともたくさんある。活動を通じて視野が広がり、地域への愛着もさらに深まった」と充実感をにじませる。

「地域のため、皆で支えてきたこのサロンを守り伝えるのが私たちの責任」と奥代表は力を込める。仲間とともに受け継いだ想いをつなぎ、これからも高齢者の笑顔を支え続けていく。



■ 10年以上通い続ける
中谷 順子さん

季節ごとのイベントや、毎月の保健師さんの健康チェックなど利用者の事をよく考えてくれます。ここに来ると皆おしゃべりになり、気持ち自然と明るくなります。ずっと元気で通い続けたいです。